

## 動物実験申請書

平成26年 3月 5日

89

大阪府立大学様

部局名(研究科・機構)	生命環境科学研究所
分野(研究G)名等	獣医臨床科学分野
動物実験責任者職・氏名	准教授 藤本由香
連絡先内線 2477	E-mail: fujimoto@vet.osakafu-u.ac.jp

大阪府立大学動物実験規程第8条、第9条及び第11条の規定に基づき、下記のとおり申請します。

※動物実験責任者が有期雇用の場合は実施期間は有期雇用の期間内とすること。

※変更申請の場合は、変更箇所及び変更内容を赤枠で囲み、(17)に理由を記載すること。

(1)申請区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規申請 <input type="checkbox"/> 変更申請 <input type="checkbox"/> 中止申請 <input type="checkbox"/> 中間報告 <input type="checkbox"/> 終了報告					承認済み番号	動物実験 一 号			
(2)研究課題名	診断治療学実習 Part 1 (藤本担当部分)									
(3)研究目的	4年生を対象にし、動物の治療に必要な外科手術における基本的な手技である、麻酔法、周術期管理法ならびに手術の基本操作を習得させることを目的とする。									
(4)動物実験及び飼養者	部局名	職名・学年	氏名	承認番号	備考	部局名	職名・学年	氏名	承認番号	備考
	生命環境科学 研究所	准教授	藤本由香	生-25-研-67						
	生命環境科学 研究所	獣医学科4年生	別紙参照							
(5)実施期間	承認後 ~ 平成27年3月31日 (最長5年間)					承認済み実施期間 (新規以外)		平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日		
(6)施設名等	飼養保管施設	りんくうキャンパス 動物科学教育研究センター 1F			実験室		獣医臨床センター (株) 3P手術基盤室			
	施設許可番号	動物施設21-4号			施設許可番号		動物施設21-13号			
(7)使用動物	動物種	系統名	性別	頭数/年	頭数/5年	微生物学的 品質	入手先 (購入機関名)	備考		
	イヌ	ビーグル	雌または雄	8頭/年	16頭/2年	コンベン ショナル	[REDACTED]			
概要 (研究計画と方法について、その概要を記入する) <input checked="" type="checkbox"/> 材料採取 <input type="checkbox"/> 遺伝子組換実験 <input type="checkbox"/> 試料投与 <input type="checkbox"/> 抗体作製 <input type="checkbox"/> 感染実験 <input type="checkbox"/> RI実験 <input type="checkbox"/> 胚操作関連 <input checked="" type="checkbox"/> 外科的処置 <input checked="" type="checkbox"/> 行動の観察 <input type="checkbox"/> 環境ストレス <input type="checkbox"/> 繁殖 <input type="checkbox"/> 特殊飼育 <input type="checkbox"/> その他( ) ①検査に必要な材料の採取法(採血、関節液)や身体検査法の習得 ②薬剤投与、術中管理のための脈管確保、ならびに必要な動物の保定法の習得 ③麻酔法(静脈麻酔、吸入麻酔、局所麻酔)ならびに周術期管理法、心肺蘇生法について習得										
実験方法 (動物に加える処置、使用動物数の根拠を具体的に記入し、「想定される苦痛のカテゴリー」や「動物の苦痛軽減・排除方法」等と整合性をもたせる。)										
(8)研究計画 と方法	内 容					該当SCAの カテゴリー	麻酔法・麻酔薬等 (具体的な薬剤名及びその投与量・経路)			
	<p>■材料採取</p> <p>①静脈血：麻酔前の術前検査のために採取 0.5 - 1.0 ml 採血部位：桡側皮靜脈、外側伏在靜脈 採血手技の練習として 0.5 ml × 5-6回 (1班あたりの学生数) ②関節液：麻酔下の動物で関節液の採取 穿刺部位：肘関節 穿刺液量：最大 0.6 ml (0.1 ml × 5-6回) (1班あたりの学生数) *健常な関節ではほとんど関節液が採取されないため、おもに穿刺手技の練習となる *関節への穿刺は、不動化処置(全身麻酔)を行い、外科手術と同様の毛刈り、消毒処置に準じて実施する。これにより、体動による針での軟骨や血管・神経の損傷、および感染の最大限の予防となる。なお、刺した針は、針先を動かさないように抜去するように指導し、最後に衛生的に十分な止血を行なう。また、感染防止に抗生素の投与を行なう。(セファレキシン 25 mg/kg BID, IV or PO, 3日間)。</p>					A B C D E <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	全身麻酔法：ミダゾラム (0.2 mg/kg, IV), ブトルファノール (0.1 mg/kg, SC), プロボファール (6 mg/kg, IV) で導入し、2.5%イソフルレン吸入麻酔で維持する。			
	<p>■遺伝子組換 実験</p> <p>・注射法の練習として生食の皮下投与 投与量：0.5 ml × 5-6回 (1班あたりの学生数) 投与部位：背側胸骨間または背側腰部</p>					A B C D E <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
	<p>■試料投与</p> <p>・局所麻酔法(神経ブロック)の習得として、全身麻酔下のイヌに神経支配領域に生食の投与 穿刺部位：眼窩下孔、オトガイ孔、歯槽骨周辺 投与量：0.2 ml × 5-6回 (1班あたりの学生数) *穿刺部位の消毒を行い、神経の先生際は、用手により神経孔を探れた場合のみ、針の刺入を行なうことで、組織損傷の事故はほとんど起こらないので、無探査での針の刺入をしないように徹底的な指導を行なう。処置後は、止血されていることを十分に確認する。また、感染防止に抗生素の投与する(セファレキシン 25 mg/kg BID, IV or PO, 3日間)。</p>					A B C D E <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	*局所麻酔法の習得プログラムは、全身麻酔下で行なう。 全身麻酔法：ミダゾラム (0.2 mg/kg, IV), ブトルファノール (0.1 mg/kg, SC), プロボファール (6 mg/kg, IV) で導入し、2.5%イソフルレン吸入麻酔で維持する。			
	□抗体作製					A B C D E <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
	□感染実験					A B C D E <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
	□RI実験					A B C D E <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				

□脳操作関連		A B C D E □ □ □ □ □	
□外科的処置		A B C D E □ □ □ □ □	
■行動の観察	・動物の保定時に必要最低限の拘束となるように動物の様子を観察しながらハンドリングを行なう（カテゴリー B） ・周術期に血圧、心拍数、呼吸数、体温などのバイタルサインをモニターし、麻酔深度・覚醒状態を十分にモニターする（カテゴリー C）	A B C D E □ □ ■ □ □	同上
□環境ストレス		A B C D E □ □ □ □ □	
□繁殖		A B C D E □ □ □ □ □	
□特殊飼育		A B C D E □ □ □ □ □	
□その他		A B C D E □ □ □ □ □	

(8)研究計画 と方法	動物実験の妥当性  シミュレーターなどの代替法では、麻酔時の生体反応を学ぶことが困難であり、また、動物のハンドリング操作を含めた保定法、脈管確保は臨床獣医学的に習得すべき技術であり、外科的手技の基本や術後管理法を学ぶ上で、動物の使用は極めて有益であるので、本動物実験に変わるべき方法はない。	
	使用動物数の妥当性  技術習得の機会および動物の負担軽減のバランスを考慮し、年間8頭（5-6学生あたりに1頭）	
(9)特殊実験 区分 (該当項目 全てに印)	<input type="checkbox"/>	1 感染実験 安全度分類： <input type="checkbox"/> BSL 1 <input type="checkbox"/> BSL 2 <input type="checkbox"/> BSL 3 (許可番号： )
	<input type="checkbox"/>	2 遺伝子組換え動物使用実験 区分： <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A (許可番号： )
	<input type="checkbox"/>	3 放射性同位元素使用実験 (許可番号： )
	<input checked="" type="checkbox"/>	4 触醒剤原料・特定毒物・向精神薬・麻薬等：□覚醒剤原料□特定毒物■向精神薬□麻薬■その他（劇薬、要指示医薬品） (管理者氏名：藤本 由香 免許（許可）番号： ( ) ) 試薬名：酒石酸ブルフアノール（劇薬、要指示医薬品）(バーコード番号： ) 試薬名：ミダゾラム (向精神薬) (バーコード番号： ) 試薬名：プロボフォール（劇薬、要指示医薬品）(バーコード番号： ) 試薬名：イソフルラン（劇薬）(バーコード番号： ) 試薬名：ブビパカイン（劇薬、要指示医薬品）(バーコード番号： )
(10)動物実験 の種類	<input type="checkbox"/> 1 試験・研究 <input checked="" type="checkbox"/> 2 教育・訓練 <input type="checkbox"/> 3 その他 ( )	
(11)動物実験 を必要とする 理由	<input checked="" type="checkbox"/>	1 検討したが、動物実験に替わる手段がなかった
	<input type="checkbox"/>	2 検討したが、代替手段の精度が不十分だった
	<input type="checkbox"/>	3 その他 ( )
(12)想定され る苦痛の カテゴリー (総合評価)	<input type="checkbox"/>	B 脊椎動物を用い、動物に対してほとんど、あるいは全く不快感を与えないと思われる実験
	<input checked="" type="checkbox"/>	C 脊椎動物を用い、動物に対し軽度のストレス又は痛み（短期間持続するもの）を作りうと思われる実験
	<input type="checkbox"/>	D 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレス又は痛み（長時間持続するもの）を作りうと思われる実験
	<input type="checkbox"/>	E 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い又はそれ以上の痛みを与えると思われる実験
(13)動物の 苦痛軽減、 排除の 方法	<input checked="" type="checkbox"/>	1 毎時間の保定・拘束及び注射等、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない
	<input type="checkbox"/>	2 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない ( )
	<input checked="" type="checkbox"/>	3 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する（具体的な薬剤名及びその投与量・経路を記入） (ミダゾラム 0.2 mg/kg IV、ブルフアノール 0.1 mg/kg SC、プロボファール 6 mg/kg IV、2.5% イソフルレン吸入麻酔、ブビパカイン 0.5 mg/kg 静注局所麻酔、カルプロフェン 4 mg/kg SID, SC or PO )
	<input type="checkbox"/>	4 動物が耐えがたい痛みを作りう場合、適切な時期に安楽死措置をとる等の人道的エンドポイントを考慮する
	<input checked="" type="checkbox"/>	5 実験終了後の処置として、安楽死措置をとる。
	<input type="checkbox"/>	5 その他（具体的に記入： )
	<input type="checkbox"/>	
(14)安楽死の 方法 (該当項目 全てに印)	<input type="checkbox"/>	1 麻酔薬等を使用する（具体的な薬剤名及びその投与量・経路を記入）( )
	<input type="checkbox"/>	2 炭酸ガス
	<input type="checkbox"/>	3 中権破壊（具体的に記入： 法）
	<input checked="" type="checkbox"/>	4 安楽死させない（その理由を記入：他の実習（長谷川先生担当の整形外科実習）に用いるため )
(15)動物死体 の処理方法	<input type="checkbox"/>	1 飼養保管施設に委託（施設名： )
	<input checked="" type="checkbox"/>	2 その他（具体的に記入： 家畜保健衛生所で処理 )
(16)その他 必要又は 参考事項	(過去の動物実験計画書承認実績、学内の関連委員会への申請状況等を記入する)  (参考) 平成21年4月1日～平成26年3月31日まで生命環境科学研究所動物実験委員会規程に従い、動物実験計画書提出及び承認を得た（動物実験21-87） 実験で与えた影響が消失したと判断した場合は（全身麻酔処置後は最低2週間の間隔）、実験動物数を削減する目的で同一動物を実験に供する（診断治療学実習の整形外科学に関わる同様の実習に再利用する：長谷貴史先生が別途申請予定）。	
(17)変更箇所及 び変更理由	(変更申請の箇所及び変更理由を記入する)	

※この欄は、 中止申請書 中間報告書 終了報告書 として記載 すること。	実験結果		□計画通り実施		□一部変更して実施		□中止（理由： )		
	実験内容のまとめ								
	実験の總括 苦痛の軽減・排除など動物福祉 に配慮した点								
	問題点・反省点等								
	実験中に生じた動物管理上の異常		□無 □有（具体的事象： )						
動物の搬入に ついて (動物を搬入した場合 記載)	動物種	系統の種類	系統数	使用動物数	維持動物数	総数	備考		
	<input type="checkbox"/> 非組換え	<input type="checkbox"/> 組換え							
	<input type="checkbox"/> 非組換え	<input type="checkbox"/> 組換え					使用動物数は、報告する期間中に 安楽死措置（自然死を含む）した 总数。但し仔仔（誕生前）を使用 した場合、母獸の数を記載する。		
	<input type="checkbox"/> 非組換え	<input type="checkbox"/> 組換え							
動物の搬入に ついて (動物を搬入した場合 記載)	検疫の結果		□異常無し □異常有り	月	日搬入分	対処結果：			
	輸送について		□異常無し □異常有り	月	日搬入分	対処結果：			
実験の成果 (予定を含む)	得られた業績を記載する。雑誌論文、図書、工業所有権などについて、著者名、論文課題、雑誌名、巻・年号、発表年、ページ、出版社などを記載								

部局名	生命環境科学研究所	職・氏名	准教授・藤本由香
-----	-----------	------	----------

府大教推第 1009 号  
平成 26 年 4 月 30 日

生命環境科学研究所長 様

大阪府立大学長

動物実験計画の申請について（通知）

平成 26 年 3 月 5 日 付けの下記申請については 承認 とする。

記

研究科・学部等、 専攻等、研究室等	生命環境科学研究所
職名・実験責任者	准教授 藤本 由香
承認年月日・承認番号	平成 26 年 3 月 5 日 動物実験 25 - 76 号
有効期間	平成 26 年 3 月 5 日 ~ 平成 27 年 3 月 31 日
課題名	診断治療学実習 Part1 (藤本担当部分)
備考	0

整理番号	25-76
------	-------

部局実験動物管理者の書類確認 〔押印省略〕	職・氏名	
	年月日	平成 年 月 日

## 平成26年度 □動物実験申請書 ■実施状況報告書

平成27年5月26日

大阪府立大学長様

部局名（研究科・機構）	生命環境科学研究所	
分野（研究G）名等	獣医臨床科学分野	
動物実験責任者職・氏名	准教授	藤本 由香 (印)
連絡先内線 2477	E-mail:	fujimoto@vet.osakafu-u.ac.jp

大阪府立大学動物実験規程第8条、第9条及び第11条の規定に基づき、下記のとおり申請します。

※注1 申請書の記載欄の高さ変更及びページ数の増加は可とする。（文字のポイントを小さくしないこと。）

※注2 新規申請の場合で、前回の申請から変更のある場合は、当該箇所を朱書きする。

※注3 当該年度の変更申請は、変更する箇所に1行挿入し、変更前と対比して記入すること。変更後は朱書きする。

また、変更申請する欄を赤枠で囲い、(17)に理由を記載すること。

(1)申請区分	■新規申請	当該実験を含む研究の実施予定期間			平成26年 3月 5日～平成27年 3月31日		
	□中止申請	中止申請する動物実験の承認番号			動物実験 一 号		
	□変更申請（委員会の審査必要）	変更申請する動物実験の承認番号			動物実験 25-76 号		
	□変更申請（委員会の審査不要）	□実験実施者の変更のみ	□実験動物の系統の変更のみ	□委員会の指示による変更			
(2)実験課題名	診断治療学実習 Part 1 (藤本担当部分)						
(3)動物実験責任者・実験実施者・飼養者	区分	所 属	職名・学年	氏 名	登録番号		
	■動物実験責任者	生命環境科学研究所	准教授	藤本 由香	生26-研-13号		
	■実験実施者 ■飼養者	生命環境科学研究所	獣医学科・4年生	46名（別紙参照）	— — 号		
	□実験実施者 □飼養者				— — 号		
	□実験実施者 □飼養者				— — 号		
	□実験実施者 □飼養者				— — 号		
	□実験実施者 □飼養者				— — 号		
	□実験実施者 □飼養者				— — 号		
(4)実施期間	承認後～平成27年3月31日（当該年度末まで）			承認済み実施期間 ※新規申請以外は記入	平成 年 月 日	～平成 年 月 日	
(5)施設	飼養保管室	りんくう キンバス 棟C-125号室 産学官連携飼育室（イヌ）			承認番号	動物施設21-4号	
	実験室	りんくう キンバス 棟D-319号室 手術実習研修室			承認番号	動物施設21-13号	
(6)使用動物	動物種	系統名	性別	使用頭数/年	微生物学的品質	入手先（導入機関名）	備考
	イヌ	ビーグル	雌	8頭/年	コンベンショナル	[REDACTED]	
						[REDACTED]	
						[REDACTED]	
						[REDACTED]	
(7)動物実験の種類	□試験・研究 ■教育・訓練 □その他（ ）						
(8)特殊実験区分 (該当項目全てに印)	□病原微生物等取扱い実験	□BSL1 □BSL2 □BSL3	□委員会へ申請中 □承認済（承認番号：BS-実-号）				
	□遺伝子組換え実験	□P1A □P2A	□委員会へ申請中 □承認済（承認番号：D-号）				
	□放射性同位元素使用実験	許可番号（ ）					
	□覚醒剤原料 □特定毒物 ■向精神薬 □麻薬 ■劇薬（■指定医薬品 ■要指示薬品）						
	管理者氏名	藤本 由香	免許（許可）番号		試薬名	酒石酸プロトロファノール	バーコード番号
管理者氏名	藤本 由香	免許（許可）番号		試薬名	ミダゾラム	バーコード番号	4987431297284 向精神薬
管理者氏名	藤本 由香	免許（許可）番号		試薬名	プロポフォール	バーコード番号	なし 劇薬・要指示薬品
管理者氏名	藤本 由香	免許（許可）番号		試薬名	イソフルラン	バーコード番号	なし 劇薬・指定医薬品
管理者氏名	藤本 由香	免許（許可）番号		試薬名	ブピバカイン	バーコード番号	4987650416404 劇薬・要指示薬品
□その他	( )						

25-76

(9) 実験目的	4年生を対象にし、動物の治療に必要な外科手術における基本的な手技である、麻酔法、周術期管理法ならびに手術の基本操作を習得させることを目的とする。								
(10) 実験方法	<input checked="" type="checkbox"/> 材料採取 <input type="checkbox"/> 遺伝子組換実験 <input checked="" type="checkbox"/> 試料投与 <input type="checkbox"/> 抗体作製 <input type="checkbox"/> 感染実験 <input type="checkbox"/> RI実験 <input type="checkbox"/> 胚操作関連 <input checked="" type="checkbox"/> 外科的処置 <input checked="" type="checkbox"/> 行動的観察 <input type="checkbox"/> 環境ストレス <input type="checkbox"/> 繁殖 <input type="checkbox"/> 特殊飼育 <input type="checkbox"/> その他( )								
(11) 実験概要	①検査に必要な材料の採取法（採血、関節液）や身体検査法の習得 ②薬剤投与、術中管理のための脈管確保、ならびに必要な動物の保定法の習得 ③麻酔法（静脈麻酔、吸入麻酔、局所麻酔）ならびに周術期管理法、心肺蘇生法について習得								
(12) 動物実験を必要とする理由	<input checked="" type="checkbox"/> 検討したが、動物実験に替わる手段がなかった <input type="checkbox"/> 検討したが、代替手段の精度が不十分だった <input type="checkbox"/> その他( )								
(13) 動物実験の妥当性	(注1) 動物実験を行わなければならない理由だけではなく、本実験を行うことによって得られる成果の重要性について記述すること。 (注2) 研究が複数年度にわたる場合は、研究の全像と当該実験の位置付けが分かるように記述すること。)								
(14) 使用動物数の妥当性	(各実験処理ごとに使用動物頭数を記載し、(6)使用動物に記載した動物数の妥当性について記述すること。)  技術習得の機会および動物の負担軽減のバランスを考慮し、年間8頭（5-6学生あたりに1頭）								
実験方法（動物に加える処置、使用動物数の根拠を具体的に記入し、「想定される苦痛のカテゴリー」や「動物の苦痛軽減・排除方法」等と整合性をもたせる。）									
	内 容	該当SCAWの カテゴリー	麻酔法・麻酔薬等						
■材料採取	①静脈血：麻酔前の術前検査のために採取 0.5 - 1.0 ml 採血部位：橈側皮静脈、外側伏在静脈 採血手技の練習として 0.5 ml×5-6回（1班あたりの学生数） ②関節液：麻酔下の動物で関節液の採取 穿刺部位：肘関節 関節液量：最大 0.6 ml (0.1 ml×5-6回 (1班あたりの学生数))  *健常な関節ではほとんど関節液が採取されないため、おもに穿刺手技の練習となる *関節への穿刺は、不動化処置（全身麻酔）を行い、外科手術と同様の毛刈り、消毒処置を行い、外科的無菌操作に準じて実施する。これにより、体動による針での軟骨や血管・神経の損傷、および感染の最大限の予防となる。なお、刺入した針は、針先を動かさないように抜去するように指導し、最後に衛生的に十分な圧迫止血を行なう。また、感染防止に抗生素の投与を行なう。（セファレキシン 25 mg/kg BID, IV or PO, 3日間）。	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E <input checked="" type="checkbox"/> ■ <input type="checkbox"/> □ <input type="checkbox"/> □	薬剤名 投与量	ミダゾラム (0.2 mg/kg), ブトルファノール (0.1 mg/kg)による鎮静後に、プロポフアール (6 mg/kg)による麻酔導入後に気管内挿管、酸素-2.5%イソフルラン吸入による全身麻酔の維持					
		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E <input checked="" type="checkbox"/> ■ <input type="checkbox"/> □ <input type="checkbox"/> □	経路	静脈内投与（ミダゾラム、プロポフォール） 皮下投与（ブトルファノール） 吸入（イソフルラン）					
□遺伝子組換え実験		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E <input checked="" type="checkbox"/> ■ <input type="checkbox"/> □ <input type="checkbox"/> □	薬剤名 投与量	経路					
■試料投与	・注射法の練習として生食の皮下投与 投与量：0.5 ml×5-6回（1班あたりの学生数） 投与部位：背側肩甲骨間または背側腰部  ・局所麻酔法（神経ブロック）の習得として、全身麻酔下のイヌに神経支配領域に生食の投与 穿刺部位：眼窩下孔、オトガイ孔、歯槽骨周辺 投与量：0.2 ml×5-6回（1班あたりの学生数） *穿刺部位の消毒を行い、神経孔の先生の際は、用手により神経孔を探れた場合のみ、針の刺入を行なうことで、組織損傷の事故はほとんどおこらないので、無探索での針の刺入をしないように徹底的な指導を行なう。処置後は、止血されていることを十分に確認する。また、感染防止に抗生素を投与する（セファレキシン 25 mg/kg BID, IV or PO, 3日間）。	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E <input checked="" type="checkbox"/> ■ <input type="checkbox"/> □ <input type="checkbox"/> □	薬剤名 投与量	*局所麻酔法の習得プログラムは、全身麻酔下で行なう。 全身麻酔法：ミダゾラム (0.2 mg/kg), ブトルファノール (0.1 mg/kg), プロポフアール (6 mg/kg)で導入し、2.5%イソフルレン吸入麻酔で維持する。					
		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E <input checked="" type="checkbox"/> ■ <input type="checkbox"/> □ <input type="checkbox"/> □	経路	静脈内投与（ミダゾラム、プロポフォール） 皮下投与（ブトルファノール） 吸入（イソフルラン）					
(15) 実験方法の内容									
□抗体作製		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E <input checked="" type="checkbox"/> ■ <input type="checkbox"/> □ <input type="checkbox"/> □	薬剤名 投与量	経路					
□感染実験		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E <input checked="" type="checkbox"/> ■ <input type="checkbox"/> □ <input type="checkbox"/> □	薬剤名 投与量	経路					
□RI実験		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E <input checked="" type="checkbox"/> ■ <input type="checkbox"/> □ <input type="checkbox"/> □	薬剤名 投与量	経路					
□胚操作関連		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E <input checked="" type="checkbox"/> ■ <input type="checkbox"/> □ <input type="checkbox"/> □	薬剤名 投与量	経路					
□外科的処置		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E <input checked="" type="checkbox"/> ■ <input type="checkbox"/> □ <input type="checkbox"/> □	薬剤名 投与量	経路					

■行動の観察	・動物の保定時に必要最低限の拘束となるように動物の様子を観察しながらハンドリングを行なう (カテゴリー B) ・周術期に血圧、心拍数、呼吸数、体温などのバイタルサインをモニターし、麻酔深度・覚醒状態を十分にモニターする (カテゴリー C)	A B C D E <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	薬剤名投与量	経路	
	□環境ストレス	A B C D E <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	薬剤名投与量	経路	
	□繁殖	A B C D E <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	薬剤名投与量	経路	
	□特殊飼育	A B C D E <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	薬剤名投与量	経路	
	□その他	A B C D E <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	薬剤名投与量	経路	
	(16)想定される苦痛のカテゴリー [総合評価]	□ B 脊椎動物を用い、動物に対してほとんど、あるいは全く不快感を与えないと思われる実験 ■ C 脊椎動物を用い、動物に対し軽度のストレス又は痛み（短期間持続するもの）を伴うと思われる実験 □ D 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレス又は痛み（長時間持続するもの）を伴うと思われる実験 ※(17) □ 4 にチェックを入れ、必要事項を記載すること。 □ E 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い又はそれ以上の痛みを与えると思われる実験			
(17)動物の苦痛軽減、排除の方法	■ 1 短時間の保定・拘束及び注射等、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない				
	□ 2 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない	その理由			
	■ 3 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する	薬剤名 ミダゾラム プロトルファノール プロポフオール イソフルレン	投与量 ミダゾラム (0.2 mg/kg) プロトルファノール (0.1 mg/kg) プロポフオール (6 mg/kg) 2.5% イソフルレン	静脈内投与 (ミダゾラム、プロポフォール) 皮下投与 (プロトルファノール) 吸入 (イソフルレン)	経路
	□ 4 動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとる等の人道的エンドポイントを考慮する (動物がどのような症状を呈したときに、エンドポイントとするのかについて、具体的に記載すること。)				
	■ 5 実験終了後の処置として、安楽死措置をとる。(本動物実験では実施しないが、診断治療学実習 Part 2 の実験終了時に安楽死処置の予定)				
	□ 6 その他	具体的に記入			
(18)安楽死の方法 〔該当項目全てに印〕	□ 1 麻酔薬等を使用する	薬剤名	投与量	経路	
	□ 2 炭酸ガス				
	□ 3 中枢破壊	具体的に記入 : ○○法			
	■ 4 安楽死させない	その理由	他の実習（診断治療学実習 Part 2）に用いるため		
(19)動物死体の処理方法	□ 1 飼養保管施設に委託	施設名			
	■ 2 その他	具体的に記入	家畜保健衛生所で処理		
(20)その他 〔必要又は参考事項〕	(参考) 平成21年4月1日～平成26年3月31日まで生命環境科学研究科動物実験委員会規程に従い、動物実験計画書提出及び承認を得た(動物実験21-87)実験で与えた影響が消失したと判断した場合は(全身麻酔処置後は最低2週間の間隔)，実験動物数を削減する目的で同一動物を実験に供する(診断治療学実習 Part 1 から診断治療学実習 Part 2：同一動物を実験に供する)。				
(21)変更理由 〔(1)が変更申請の場合に記入〕					

報告の区分	報告する期間	平成26年 3月 5日～平成26年 7月 2日		
	■計画どおり実施	(記載不要)		
	□実験を中止	中止理由		
	□一部実験を未実施	実施しなかった実験の内容		
	□一部変更して実施	変更内容		
	実験内容のまとめ	診断治療学実習のPart 1として、検査に必要な材料の採取法（採血、関節液）や身体検査法、薬剤投与、術中管理のための脈管確保、ならびに必要な動物の保定法、麻酔法（静脈麻酔、吸入麻酔、局所麻酔）ならびに周術期管理法、心肺蘇生法について習得するための実習を予定通りに実施した。		

当該実験の  
実施状況  
報告書

実験の 総括	苦痛の軽減・排除など動物 福祉に配慮した点	実習前の説明を十分に行い、動物での実習の前に可能な限り、シミュレーターを活用した。			
	問題点・反省点等	麻酔の実験など、十分に学生を監督できるように、順次グループ毎に指導をおこなったので、実習時間が長引いたことがあった。TAによる実習の補助を充実させることは、今後の検討課題と考える。			
実験中に生じた動物管理上の異常	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (具体的な事象 : )				
実験動物 の種と 使用頭数	動物種	系統名	性別	使用頭数／年	備考
	イヌ	ビーグル	メス	8頭／年	胎子（誕生前）を使用した場合、母獣の数を記載する。
実験承認時の動物数と年度 末報告時の動物数に差が発 生した場合の理由					
動物の搬入 について 〔動物を輸入した場合 記載〕	検疫の結果	<input checked="" type="checkbox"/> 異常無し <input type="checkbox"/> 異常有り	月	日搬入分 (対処結果 : )	
	輸送について	<input checked="" type="checkbox"/> 異常無し <input type="checkbox"/> 異常有り	月	日搬入分 (対処結果 : )	
実験の成果 〔予定を含む〕	得られた業績を記載する。雑誌論文、図書、工業所有権などについて、著者名、論文課題、雑誌名、巻・年号、発表年、ページ、出版社などを記載 H26年度4年生の46名が診断治療学実習の単位を取得した／				
当該年度の3月31日現在に おいて、当該動物実験責任者 が飼養保管している全ての動 物頭数の報告	動物種	系統名	性別	飼養保管頭数	備考
	イヌ	ビーグル	メス	5頭	同じ動物実験責任者が複数の動物実験を 実施している場合、実験ごとに提出される 報告書のこの欄には、全て同じ内容が 記載されることになる。

※自己点検評価・報告の資料とするため、当該動物実験責任者が飼養保管している全ての動物頭数について、併せて調査します。

部局名	生命環境科学研究所	職・氏名	准教授・藤本由香
-----	-----------	------	----------

## 平成25年度 動物実験実施者登録申請書

平成 26 年 1月15日

大阪府立大学長 様

部局名(研究科・機構) 生命環境科学研究所

分野(研究G)名等 獣医学専攻

申請者 職・氏名 専攻主任 玉田 審通

連絡先 内線: E-mail: tamada@vet.osakafu-u.ac.jp



大阪府立大学動物実験規程第8条の規定に基づき、下記のとおり申請します。

	区分	職名 (身分) 学年等	氏名	職員番号 又は 学籍番号	取扱った 動物種	取扱歴 (年数)	教育訓練		健康診断 受診の 有/無	動物実験実施者 許可番号
							開催日等	出/欠		
1	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (9/26 DVD視聴)	■出席 □欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 □無	生24-学-232 ※生25-学-260
2	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (9/26 DVD視聴)	■出席 □欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 □無	生24-学-233 ※生25-学-261
3	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (9/26 DVD視聴)	■出席 □欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 □無	生24-学-234 ※生25-学-262
4	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (10/10 DVD視聴)	■出席 □欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 □無	生24-学-235 ※生25-学-263
5	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (9/25 DVD視聴)	■出席 □欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 □無	生24-学-236 ※生25-学-264
6	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (9/26 DVD視聴)	■出席 □欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 □無	生24-学-237 ※生25-学-265
7	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (9/26 DVD視聴)	■出席 □欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 □無	生24-学-238 ※生25-学-266
8	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (9/26 DVD視聴)	■出席 □欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 □無	生24-学-239 ※生25-学-267
9	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (9/26 DVD視聴)	■出席 □欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 □無	生24-学-240 ※生25-学-268
10	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (9/26 DVD視聴)	■出席 □欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 □無	生24-学-241 ※生25-学-269
11	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (9/26 DVD視聴)	■出席 □欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 □無	生24-学-242 ※生25-学-270
12	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (9/26 DVD視聴)	■出席 □欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 □無	生24-学-243 ※生25-学-271
13	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (9/26 DVD視聴)	■出席 □欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 □無	生24-学-244 ※生25-学-272
14	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (9/26 DVD視聴)	■出席 □欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 □無	生24-学-245 ※生25-学-273
15	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (9/26 DVD視聴)	■出席 □欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 □無	生24-学-246 ※生25-学-274



38	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (9/26 DVD視聴)	<input checked="" type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	生24-学-269 ※生25-学-297
39	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (9/26 DVD視聴)	<input checked="" type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	生24-学-270 ※生25-学-298
40	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (9/26 DVD視聴)	<input checked="" type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	生24-学-271 ※生25-学-299
41	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (9/26 DVD視聴)	<input checked="" type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	生24-学-272 ※生25-学-300
42	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (9/26 DVD視聴)	<input checked="" type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	生24-学-273 ※生25-学-301
43	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (9/26 DVD視聴)	<input checked="" type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	生24-学-274 ※生25-学-302
44	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (9/26 DVD視聴)	<input checked="" type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	生24-学-275 ※生25-学-303
45	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (9/26 DVD視聴)	<input checked="" type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	生24-学-276 ※生25-学-304
46	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中止	獣医学科3年生	[REDACTED]	[REDACTED]	マウス、ラット、モルモット、ハムスター	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2年) <input type="checkbox"/> 無	月 日 (9/26 DVD視聴)	<input checked="" type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	生24-学-277 ※生25-学-305

※動物実験実施者許可番号欄は、既に承認番号を受けている者については上段に番号を記載すること。下段の※印は記入しないこと。

上記のとおり動物実験実施者として許可番号を付与する。

平成26年1月17日 大阪府立大学動物実験委員会委員長